

N B S 2025 年 夏季特別講演会 の ご案内 【第一信】

本年は全国的に梅雨入りが遅れ、関東もここしばらくは季節が後戻りした様な肌寒い日が続く不順な天候ですが、皆様にはお元気にご活躍のことと存じます。

さて、NPO ビジネス・サポート(略称：NBS)では、本年も 7 月 15 日(火)に「NBS 夏季特別講演会」を開催いたします。

今回は講師に、(一財)機械振興協会副会長 技術研究所長 の 西本淳哉 氏をお迎えし、『国家間競争の時代におけるイノベーションの勝ち筋』という演題でご講演をいただきます。

西本様のご経歴は後掲の「講師のプロフィール」をご覧いただければと存じますが、1982 年に通産省(当時)に入省され、航空宇宙産業を皮切りに様々な事業分野に携わられて来られ、現在は(一財)機械振興協会副会長 並びに 当該財団の技術研究所長を勤められています。

本日の日経第一面は「人類が生む最後の大発明」として、「AGI (汎用人口知能)」が取り上げられていました。昨今は「トランプ関税」を始めとして、世界の各地で様々な“標語”的「ポピュリズム」が大波の如く打ち寄せていますが、そうした日々のニュースでの「目くらまし」に惑わされて問題の本質を見誤ることなく、21 世紀の後半に向けて「日本」が如何なる道を進んでいくべきなのか、そうしたことを考える必要が有ると思います。また、西本様の技術面を基底としたご見識は、今後の日本の針路を見定める貴重な方向をお示しいただけるかと存じます。

ご多用中とは存じますが、皆様の奮っての御参加をお待ち申し上げます。

2025 年 6 月 2 日

NPO ビジネス・サポート

理事長 観野 福太郎

「2025 年 NBS 夏季特別講演会 開催概要」

- 日 時 2025 年 7 月 15 日(火) 講演会 16:00~18:00
- 場 所 霞が関 商工会館 5H 会議室
(住所)千代田区霞が関 3 丁目 4-2
- 講演会 講師：西本淳哉 氏 (一財)機械振興協会副会長 技術研究所長
演題：『国家間競争の時代におけるイノベーションの勝ち筋』

講演趣旨(西本講師)

米国一強の時代がいま大きな転換点を迎えている。高度経済成長期を支えたわが国の産業政策は、成功し過ぎたがゆえに米欧から問題視され、その棘を抜かれた。そして今日、新たな対抗軸としての中国の台頭を睨み、現在、各国揃って強力な個別産業育成策に狂奔する中で、日本の産業技術が力強く健闘している。

経済力は国力である。ここで勝ち抜くことが国家繁栄の必須条件である。

GX、DX、AI、半導体、電池、ロボット、航空、宇宙、量子科学、原子力、核融合、バイオテクノロジ、先端医療、新素材等々。どこで勝つのか。どのように勝つのか。担い手は誰なのか。そんな話題を提供できたらと思います。

4. 募集人員 30名（勝手ながら、満員になり次第、締め切りとさせていただきます。）

5. 参加費 一般参加者 2,000円

NBS 会員 1,000円

*時節柄、講演会後に別会場にて『暑気払い』を兼ねた懇親会を計画しています。

詳細につきましては、講演会ご参加の皆様に、別途、ご案内を申し上げます。

6. 講師のプロフィール

講師 ご略歴

1982 通産省(当時)入省

航空宇宙産業、電子産業、公益事業政策、

輸入政策、地域政策、環境政策を担当

2008 大臣官房審議官(産業技術、環境担当)

2011 大臣官房技術総括審議官

2012 内閣府大臣官房宇宙審議官・宇宙戦略室長(初代)

2014 退官

2014 民間企業研究開発担当執行役員、常務執行役員

2024 (一財)機械振興協会副会長・技術研究所長

2012~2016 京都大学大学院 総合生存学館 講師

2014~2020 京都大学 学際総合教育研究推進センター 特任教授

一般財団法人機械振興協会(*Japan Society for the Promotion of Machine Industry*)

機械工業における経営の改善、技術の向上その他機械工業の振興をはかることを目的として、事業運営をおこなう業界団体。(略称: JSPMI)

1964年(昭和39年)8月24日に機械工業界の総意と協力によって設立された。経済研究所と技術研究所での事業を軸として機械産業の発展振興に携わり、事務局と経済研究所は機械振興会館内に、技術研究所本所は東久留米市にある。機械振興会館やBICライブラリの運営、調査研究事業、優れた技術開発成果を表彰する「機械振興協会賞」の実施などをおこなっている。

技術研究所(一般財団法人機械振興協会)

【研究所概要】

当技術研究所は、従来より、ものづくり企業の支援を使命としています。そのための当研究所の事業は、ものづくりのライフサイクルである研究開発、製造、販売、保守などの各フェーズで、ものづくり企業に寄添ったサービスを提供させていただいていることに特徴があります。

具体的には、研究開発段階では、企業との共同研究や受託研究を実施しています。さらに、販売段階では、研究成果や研究成果活用商品などを、当研究所のサービスとともに、展示会やセミナーで紹介するなどによる広報支援活動を行っています。

一方、今日のものづくり企業の課題として、新興国の工業化や中間層マーケットの増加等による生産のグローバル化対応の一方で、少子高齢化による空洞化などの難題を克服する、より一層の研究開発努力が必要とされています。

当研究所は、これらの課題に対応するため、ものづくり基盤の提供とそれによるオープンイノベーションの促進など新分野の開拓と従来事業の再構築に取り組んでおり、常に社会ニーズに沿ったものづくり企業支援が行えるよう、継続的なサービス改善を進めています。

【申込方法】

◎ご参加ご希望の方は、当メールの返信にて、7月8日(火)までに、NBS事務局：橋本宛にご連絡をお願いいたします。

なお、領収書の必要な方は、領収書の宛名も併せてお知らせください。

【連絡先】

・[E-mail] < hashimoto.13530.shizu.sakura@catv296.ne.jp >

以上